

## 2023 年度スキルアップ研修（RDA 3R）コース案内

### 1. 概要

研修コース名	スキルアップ研修（RDA 3R）
期間（回数）	全 4 回。以下を予定しています。 【第 1 回】5 月、【第 2 回】7 月、【第 3 回】9 月、【第 4 回】11 月
曜日・時間	オンデマンド・オンライン（金曜 13 時 30 分～14 時 30 分）のブレンド型
担当者	高野 真理子（大学図書館支援機構）

### 2. 詳細

到達目標	<p>インターネットの普及で情報検索が日常化している中で、図書館情報サービスの根幹は、組織化されたメタデータを使いこなす専門的な技術によって裏付けされたものでなければなりません。つまり、メタデータを組織化する技術を身につけることが、的確に情報を利用・提供するスキルに結びつくといえます。実務として資料整理業務を経験する機会は少なくなっている状況があるとしても、図書館員は資料組織化の最新技術を知っておく必要があります。このコースは、いわば、あらゆる図書館業務を行う上での基礎体力ともいえる専門性のトレーニングコースです。</p> <p>世界的な書誌情報の最新技術が RDA : Resource Description and Access です。RDA は、『英米目録規則』の後継として 2010 年に発表され、すでに欧米等ではスタンダードになっていますが、日本では NDL（国立国会図書館）が 2013 年 4 月から洋資料について採用された他には普及が進まず、その間に、RDA 自体も刻々と進化しました。</p> <p>RDA は概念モデルとして FRBR を元にしていましたが、概念モデルを IFLA LRM : IFLA Library Reference Model に更新するための 3R プロジェクト（the RDA Toolkit Restructure and Redesign Project）が進められ、2020 年 12 月 15 日に正式版が変わりました。しかし、日本国内で 3R について学ぶ機会はほとんど見当りません。3R 後に、タームの多言語化・翻訳や、LC/PCC（機関ごとの適用細則）の参照等が充実化している中で、日本のガラパゴス化が否めません。是非いっしょに RDA 3R の書誌世界観を学び、世界で活用されている RDA 3R を使ってみましょう。</p>
各回内容	<p>本講習では、"Introducing RDA. 2nd ed." をやさしく解説します。RDA についてまったく知らないけど、これから学びたいと考えている方も参加可能です。</p> <p>第 1 回・第 2 回 RDA 3R の世界 第 3 回・第 4 回 世界の RDA 3R</p>
実施形態	オンデマンド教材をいつでも事前視聴可+Zoom オンライン形式での質疑応答と実習
研修報告大会	12 月中旬頃に開催（登壇者を研修内で募ります）

### 3. 受講条件

資格・経験等	国際標準が気になる人。資格・経験は問いません。
環境等	Zoom ミーティングを行うインターネット環境があれば参加可能です。